

日本機械学会年次大会 2011 での ICM&S 部門活動内容報告

基調講演：合計 14 の基調講演のうち、当部門で以下 2 件を実施した。

【K17100】産業・化学機械と安全部門企画

安全確認の原理と止まらない安全（新しい安全の展開）

企画 加部隆史（NPO 安全工学研究所）、司会 岡村隆一（NPO 安全工学研究所）

講師 杉本旭(明大)

日時：9月12日（月）15:00～16:00、会場：第31室（大岡山西8号館 W834）

【K17200】産業・化学機械と安全部門企画

ライフサイクルエンジニアリングによる戦略的安全管理

企画・司会 加部隆史（NPO 安全工学研究所）

講師 仲勇治(東工大)

日時：9月12日（月）16:15～17:15、会場：第31室（大岡山西8号館 W834）

オーガナイズド・セッションは以下 2 件、合計 9 件の発表が実施された：

S171 機械のリスクアセスメントとリスク低減 9月12日 10:00-11:15,第31室

オーガナイザー：加部隆史、福田隆文

1) ものづくりと安全の構成要素～サービスエンジニアリングの観点から、加部隆史、NPO 安全工学研究所 2) 機械類の安全装置の無効化とその方策、小林裕一、SJB,加部隆史、NPO 安工研 3) 大型車の車輪脱落事故のリスク低減、草間昇、草間技術調査 4) CFRP はく離道程におけるベイズの定理による発生確率推定、吉永博行、群馬大学、岩崎篤 5) 安全解析におけるプロセスモデリングの役割、柏屋滋、PSE Japan

S172 機械・設備の安全化 9月13日 10:00-11:15、第31室

オーガナイザー：福田隆文、笠井尚哉

1) 機械設計における設計者のスキルの重要性、岡村隆一、NPO 安全工学研究所 2) マイクロ風車を対象とした故障モード導出手法の検討、大塚雄市、長岡技科大、植和田充、宮下幸雄、武藤睦治 3) IT 技術を活用した支援の保護装置の提案-実生産現場での試験結果、福田隆文、長岡技科大 et.al, 4) 食品リサイクルの為の衝撃粉末殺菌に関する研究、藤原和人、熊大院 et.al 5) 食品処理用高圧容器における Fail-Safe 化の試み、大塚雄市、長岡技科大 et.al.

市民フォーラムは、年次大会終了後に 11 月 14 日に別途以下の通り実施した。

No.11-118 市民フォーラム：原子力事故と我々の日常生活安全への影響

～放射線物質汚染による食品安全と健康安全について～

日時：2011年11月14日（月曜日）13.30～16.30 於：大田区産業プラザ、東京

原発事故の影響と情報の非対称性について、加部隆史、NPO法人安全工学研究所

放射線と放射性物質の基礎知識、小林泰彦、(独)日本原子力研究開発機構

放射性物質の食の安全への影響について、佐田守弘、JSME-ICM&S 食の安全委員会委員長

講演の後に、活発なパネルディスカッションが行われた。

(2011.11.15 TK)